



千塚小

学校だより



ふるさと

令和5年6月号
ホームページ用

栃木市立千塚小学校
文責：校長

創立150周年記念

宮ねぎの妖精



水田のやわらかな稲の緑が心地よい時季…インフルエンザや胃腸炎等の感染症と共に、熱中症の予防も必要な季節になりました。1学期も折り返しを過ぎ、授業や諸行事にいきいきと取り組む子どもたちの姿がとてもまぶしく感じられます。学校では、「ポスト コロナ(コロナウイルスが社会に存在していることを前提として、これからどう共存していくのか)」を念頭に、今まで続けてきた「基本的な感染予防対策 ①手洗い・うがい・咳エチケットの励行 ②水分補給と休憩・休養 ③十分な換気 ④人との間隔をあける等」に気を付けながら、勉強や運動に励み、友達との仲を深めています。学校としても、様々な変化が起こる中で問題の本質を見極め、筋道を立てて考える力・自ら変化に対応できる力『自覚力』を高めていけるよう、教職員で常に話し合い、見直しをしながら子どもたちの指導・支援にあたっているところです。

これからも、**笑顔あふれる千塚小**を、みんなで力を合わせてつくっていかうという思いを再確認しています。保護者・地域の皆様と共に「チーム千塚」として、“運動会のスローガン”のとおり、「全力で 心を一つに ワンチーム」となって努めてまいります。これからも、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



職員室前花壇の
タカサゴユリ

感動の「運動会」… 5月27日(土)午前中 心に残る行事となりました。

「全力で 走り抜け! 心を一つに ワンチーム」のスローガンのもと…



力を合わせて戦い観客を釘付けにした団体種目…勝敗にかかわらず、互いをたたえ合う姿に成長を感じました。

コロナ禍での運動会から、何をどう改善・工夫するか…時間をかけて話し合い、今年度は3年ぶりに赤白に分かれて得点を競う経験をさせようと、「表現種目」に代わり「団体種目」を取り入れることにしました。赤組・白組が一体となって力を合わせたり、学年を越えて声援を贈ったり、勝って喜び合い万歳で盛り上がり、負けても笑顔でたたえ合ったりする子どもたちの姿に、多くの学びの成果を感じ取ることができました。また、ご来賓として、栃木市教育委員会教育長 様、教育振興会役員として各自治会長様、そして学校関係者として学校運営協議会委員の皆様をお招きしました。開会式での子どもたちの立派な態度や友達を思う姿に涙を流してくださる一幕や、熱い声援や拍手を贈ってくださる場面、高学年の障害物競走に自らご参加くださるお姿に、改めて多くの皆様にあたたかく支えていただいていることを実感することができました。

健康管理に留意しながら、また授業時間を確保するため、練習時間をできる限り抑えて取り組む計画を立てましたが、練習・準備段階から、**全力で 頑張る姿、楽しみながら取り組む子どもたちの笑顔**がきらきらと輝いていました。

演技の中で、転んでも起き上がってゴールを目指す姿、カー杯友達を応援する姿、みんなの思いを受けてバトンをつなぐ姿、係の仕事に責任をもって取り組む姿…子どもたちの「いいところ」がたくさん見つかりました。順位や勝敗にかかわらず、精一杯自分の“よさ”を発揮する子どもたちの姿に、胸が熱くなりました。学校では“密”を避け、人と人との間隔をあけての活動を継続していますが、だからこそ**人と人との心の結びつき**を再確認することができたように思います。本当にありがとうございました。

入退場門の横断幕張り等、早朝から名淵会長様を始め、PTA執行部の皆様にご尽力いただきました。種目の係の仕事や写真撮影、5・6年生の障害物競走へのご参加、そしてテント等の片付けまで、会場にお越しの多くの方にご協力いただき、本当にありがとうございました。



なお、来入見の種目を削減する代わりに、本校へ入学予定の年長児を秋にご招待して、低学年児童との交流会を計画していますので、どうぞお楽しみにお待ちください。



全校集会「栃木県民の日・自治力」 6/7(水)

ふるさと学習とふるさと理解・「自治力」の育成 ②②/12

業間の時間に体育館で全校集会を行いました。「県民の日(6月15日)」が近いので、栃木県の有名なものや名前の由来等について校長が話をしました。明治6年に誕生した「栃木県」は「千塚小」と同じ150年になります。学校では、いろいろところで「ふるさと学習」に力を入れています。私たちのふるさと「栃木県に生まれたこと、育ったことを誇りに」思い、ふるさとを大切に育てていきたいと思えます。



また、千塚小で大切にしている「自治力」について、教室や廊下に落ちているごみのこと、遊んだ後の竹馬の片付けのことを例に、「自分なら どうする?」と問いかけてみました。その翌日、通学路や教室に落ちていたごみを拾う行動が見られ、早速行動に移す素直な「打てば響く」子どもたちの姿にうれしくなりました。自分で考え、「こうするといい」と思うことを判断し行動する「自治力」を、これからも高めていきたいと思えます。

小中一貫教育・合同研修会 5/31(水)

吹上ブロック小中一貫教育の充実 ④/12

吹上ブロックの3校(吹上中・吹上小・千塚小)では、「小中一貫教育」に力を入れて取り組んでいます。今年度は特に、3校「合同研修会」を2回位置づけることにしました。顔を合わせて話し合うことで、共通理解を図り連携の強化に努めていきます。



第1回目は、4年ぶりに一堂に会し、本校のランチルームで開催しました。まず、今年度のグランドデザインや、推進組織の確認をして、運営計画・今年度の予定等について各校の教務主任から説明しました。その後、部会に分かれて、今年度の各専門部会における小中一貫教育の方向性と具体的な取組について話し合いました。これからも、小学校入学からと中学校卒業までの計9年間を見



通して、共通の「目指す子ども像」に向かって取組を工夫しながら、さらに充実を図っていきます。

タブレットカフェ・情報セキュリティ研修

学力の保証(学習指導)・経営の柱 ⑤/6項目

一人一台タブレットの活用については、本校の学校課題として研究しています。校内の情報教育主任を中心に、計画的に研修を進めたり、富士電機ITソリューションの方を講師にお迎えしてご講話いただいたりして、教職員の資質向上を目指しています。危機管理意識を高めながら、タブレットの有効な活用法について学びを深め、子どもたちの学ぶ意欲と学力向上に努めています。



新しく着任された教職員等の紹介

よろしく
お預かります



先生(教員業務支援員)

初めまして。今年度、千塚小学校の学校生活がよりよいものになるように、お手伝いをさせていただくことになりました。大好きなことは、人と話をする、給食、ドッジボールです。千塚小の子どもたちが、楽しく過ごせるように、コミュニケーションをとりながら見守りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

とちぎ未来アシストネット さらに充実しています

家庭や地域との連携・経営の柱 ②/6項目

アシストネットボランティアの募集の方法を見直し、新たな取組がスタートしました。地域コーディネーターの方からPTA学年委員様を通して、該当学年の保護者の皆様のご協力を募り、校外学習の引率(安全見守りや活動の支援)等をお願いしました。ご参加いただきました皆様からは「子どもたちと一緒に過ごし、交流できて楽しかった」「自分の子どもだけでなく、クラスの様子も分かり、とても安心した」「また機会があったら参加し、子どもたちのためにお手伝いしたい」等のご感想もいただきました。これからも、ご都合のつく範囲でのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



3年生の総合的な学習の時間「ふるさと探検隊」で千塚地区の自然や有名なものを調べて地域のよさを発見する学習をしていきます。5月31日(水)には、「さしも草」を観察しに出掛け、地域に詳しい〇〇様ご夫妻に案内・説明していただきました。

元教員でご退職なさった〇〇様が、ボランティアで来校してくださっています。担任教員が出張の日や、図工・理科等でグループに分かれて様々な活動をするとき等に、いろいろなクラスで子どもたちの支援をしていただけます。子どもたちとの関わり方や声掛けの仕方から、私たち教職員もたくさん学ばせていただき、とてもありがたいです。



〇〇様が、いつも玄関等に生け花を生けてくださっています。季節を感じ、とても穏やかな気持ちになります。これまでのお花を撮影して掲示してご紹介させていただいております。ご来校の際は、玄関のテーブルの上と壁面をご覧ください。

「くすくすの会」の皆様による朝の読み聞かせが、今年度も6月6日(火)から始まりました。児童はお話の世界にすうっと入り込み、落ち着いて1日をスタートすることができます。また登場人物の気持ちや情景が想像しやすくなるような朗読に、教職員も学ばせていただいております。



千塚小・ホームページ <https://tm2.tcn.ed.jp/chiduka-es/>
日頃の様子をご覧ください。QRコードから、スマートフォン等でもご覧いただけます。

投稿者の励みになりますので、是非「いいね!」もお願いします!!

